

札幌市交通事業経営計画（H26～30）の取組結果

1 収支改善目標の達成状況

【地下鉄事業の財政指標】

| 項目 | 内容 | 結果 | 金額 |
|-------|-----------------|----|-----------|
| 経常収支 | 年平均50億円以上の黒字を維持 | ○ | 年平均84.3億円 |
| 累積欠損金 | 2,000億円以下まで縮減 | × | 2,188億円 |
| 資金不足 | 発生させない | ○ | 資金残高8.1億円 |
| 企業債残高 | 2,800億円以下まで縮減 | ○ | 2,612億円 |

【路面電車事業の財政指標】

| 項目 | 内容 | 結果 | 金額 |
|-------|-------------------|----|------------|
| 経常収支 | 赤字額を年平均55百万円以下に抑制 | ○ | 年平均30.8百万円 |
| 累積欠損金 | 800百万円以内に抑制 | ○ | 409百万円 |
| 資金不足 | 2.4億円以上の資金残高を保有 | ○ | 3.6億円 |

【地下鉄事業の要因分析】

| 要 | 因 | 分 | 析 |
|-----------|--|---|---|
| 経常収支・資金不足 | <ul style="list-style-type: none"> 乗車人員の増に伴う増収 人件費、経費の縮減 企業債利息の減 | | |
| 累積欠損金 | <ul style="list-style-type: none"> 会計制度変更に伴い、健全化計画中に受けていた財政支援目的の補助金（資本費負担軽減補助）について利益剰余金整理額として一括して累積欠損金の補填にあてる予定であったが、より適正な処理である長期前受金戻入として各年度毎に収益化していく方法に変更したため。 | | |
| 企業債残高 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的な事業実施による発行額の抑制や、資金収支を勘案した償還計画の見直し（借換予定分の前倒し償還）などにより、企業債残高の縮減に努めたため。 | | |

【路面電車事業の要因分析】

| 要 | 因 | 分 | 析 |
|-------|---|---|---|
| 経常収支 | <ul style="list-style-type: none"> 乗車料収入が堅調に推移 | | |
| 累積欠損金 | <ul style="list-style-type: none"> 計画当初は運賃本改定を2015年10月を想定していたところ、ループ化の開業の遅れなどにより2017年4月まで実施が遅れたものの、乗車人員が計画を上回って推移したため。 | | |
| 資金不足 | <ul style="list-style-type: none"> 建設債利息の減 低金利の傾向にあったことから借入利率が低く抑えられたこと、事業費精査による発行額の減により、支払利息が減少したため。 | | |

2 計画事業等の取組結果

(1) 安全の確保

カッコ内の数値は計画期間内の事業費総額

| 主な取組 | 主な実施内容 |
|--------------------------|---|
| <p>安全管理体制の効果的運用を図ります</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●確固たる安全管理体制の維持・発展 安全に関する各種組織と会議体の設置・開催により、安全管理体制を維持・発展 <主な組織・会議体> カッコ内は年度毎の概ねの開催頻度 <ul style="list-style-type: none"> ・安全推進連絡会議(4回) ・安全運行管理室(ミーティング:毎平日) ・事故防止検討委員会(地下鉄・路面電車 各月1回) ・安全監査室(安全監査:10日間) ●効果的・効率的なリスク管理の実施 職員や委託業者からヒヤリ・ハット情報を収集し、収集内容の周知や対策を通じて、事故を未然に防止 収集:121件(2015.4～2019.3.31 現在) ●安全監査の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・監査員の技量を測定するための事前研修(試験)や監査手順の検証等を行う事後ミーティングを実施(2013～) ・事前研修の内容を経験の浅い監査員向けに充実(2015～) |
| <p>安全性向上のための取組の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●安全運行確保のための訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・運転シミュレーターの導入(2015:1億円) 新任運転手の養成のほか、関係職員の教習に活用 ・大規模地下鉄爆破テロ対応訓練(2016.11.25 深夜) 海外での地下鉄を対象としたテロ事件の発生や、2017.2 の冬季アジア札幌大会開催を踏まえ、爆破テロを想定した大規模な訓練を東西線南郷7丁目駅にて実施 ➡参加人数 合計152名(札幌市交通局:107名、札幌市消防局26名、北海道警察11名、JR北海道8名) ・市民参加型列車火災訓練(2013～2015、2017) |
| <p>施設の安全性を強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●東豊線可動式ホーム柵の整備(35.5億円) 2017.4に東豊線全駅稼働開始 ●新型車両の導入の推進(171.7億円) 2014～2016にかけて東豊線20編成(80両)更新 ●地震対策の推進(40.6億円) <ul style="list-style-type: none"> 南平岸駅:2013.10～2015.3(9.5億円) 自衛隊前駅:2015.3～2016.11(19.3億円) 澄川駅:2016.12～2018.9(11.8億円) 真駒内駅:工期2018～2020 予定 ●エレベーター・エスカレーター更新 <ul style="list-style-type: none"> エレベーター:38基更新(7.7億円) ➡総計41基/116基更新完了 エスカレーター:33基/238基更新完了(13.5億円) |

(2) 快適なお客さまサービスの提供

| 主な取組 | 主な実施内容 |
|-------------------------|--|
| スムーズな輸送サービスの提供 | <ul style="list-style-type: none"> ●改札機の IC 対応(10.5 億円) 2018.4 より全ての改札機が IC カードに対応 ●路面電車情報利活用システムの導入(0.7 億円) 都心線の開業に合わせ、全停留場にて稼働開始 |
| 快適な環境を整備 | <ul style="list-style-type: none"> ●トイレの改修(2.7 億円) 2017 に FRP(繊維強化プラスチック)トイレの全駅改修が完了 ●制振軌道化(4.7 億円) 879mの改修を実施(6,087m/8,905mの改修が完了) |
| お客さまがよりご利用しやすくなる取組を進めます | <ul style="list-style-type: none"> ●ニーズに合った企画乗車券などの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ドニチカキップ、どサンコパスの年末年始利用可能(2014～) ・株式会社エイチ・アイ・エスと連携し、「旅行商品セット販売用路面電車1日乗車券」発売開始(2016～) ・市営交通開局 90 周年を記念し、地下鉄・路面電車の1日乗車券をセットにした乗車券を発売(2017.11.1～2018.3.31) |

(3) まちづくりへの貢献

| 主な取組 | 主な実施内容 |
|------------------------|---|
| 公共交通の利用促進につながる取組を実施します | <ul style="list-style-type: none"> ●地下鉄駅施設の活用可能スペースの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・Sapporo City Wi-Fi:さっぽろ駅、大通駅、すすきの駅に設置 ・宅配ボックス ・キヨスク→セブンイレブン・ローソン ・ATM 新規設置(33 か所) ●バス発着施設のあり方の検討 施設の老朽化状況を踏まえ、今後の整備の方向性等について検討 ●路線のループ化の実施(28.8 億円) 2015.12.20 開業 サイドリザベーション方式の停留場(狸小路停留場)の新設により安全性や利便性が向上し、魅力的な風景も創出(国際交通安全学会賞(業績部門)受賞) ループ化後の乗車人員は対前年比で1日あたり 2,000 人を超える増加(うちループ化による効果は1日当たり 1,000 人) ●公共交通機関を利用した「健康づくり」の推進 全駅の階段に階段利用を勧める文言を掲げたステッカーを貼付したほか、ウォーキングマップを作成、配布(2014) |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>地下鉄駅周辺などの機能向上を促進します</p> | <p>●地域との連携 駅の個性化の実施 例)・白石駅:地元小学生及び地域住民による「タイルアートの装飾」を実施 ・豊平公園駅:札幌市スポーツ局による「レバンガ北海道とエスポラーダ北海道の装飾」を実施</p> <p>●さっぽろ駅連絡通路柵の撤去 (9億円のうち札幌市交通局負担分1.8億円) 南北線と東豊線を結ぶ連絡通路柵を撤去し、都心部における回遊性が向上。2017.10 撤去完了</p> |
| <p>環境対策に取り組みます</p> | <p>●照明設備のLED化の推進(5.3億円) 13駅の照明をLED化したほか、さっぽろ駅、大通駅、すすきの駅、バスセンター前駅を除くすべての駅の案内標識について、視認性を考慮したシートを張り、非電照化に改良</p> <p>●回生電力貯蔵装置の増設(1.4億円) 環境負荷低減・費用対効果を考慮し、南大通変電所に回生電力貯蔵装置を設置し、経費を節減</p> |
| <p>すべての人にやさしい施設整備を行います</p> | <p>●エレベーター等の増設(2.3億円) EV:琴似駅6番出入口</p> <p>●停留場のバリアフリー対応の推進(2.6億円) 札幌市建設局の街路拡幅事業に合わせて実施</p> <p>●新型低床車両の導入の推進(6.3億円) 2014までに3両導入し、2017～2018にかけて1両導入、2018～2019にかけて1両導入</p> |

(4) 経営力の強化

| 主な取組 | 主な実施内容 |
|---------------------------|--|
| <p>効率的で実行力のある経営を目指します</p> | <p>●一般会計補助の縮減 地下鉄事業:前5か年と比較し、404億円縮減 路面電車事業:前5か年と比較し、5.1億円縮減</p> |
| <p>人材育成・技術継承を計画的に進めます</p> | <p>●将来を担う人材の育成 ・年齢の平準化、将来を担う人材の確保のため、地下鉄乗務員を2014～2018にかけて20名採用 ・東豊線ワンマン化に向けた運転手化教習を実施 2014～2017までに車掌32名を運転手に職種変更</p> |
| <p>関連事業を推進し、増収を図ります</p> | <p>●新規広告媒体の導入(1.7億円) 大通交流拠点に12本のデジタルサイネージを導入(2015.10～)</p> <p>●一両単位広告の拡大に向けた検討 路面電車事業において、既存車両の一両単位の広告を導入</p> |

3 施設・設備の改良に関する取組結果

| 取組 | | H25年度末 (計画前) | H30年度末 (目標) | ＜H30年度末（計画期間終了時）実績＞ | |
|------------------|------------------------------------|-----------------|----------------|---------------------|--------------------------|
| | | | | H30年度末 (実績) | 備考 (目標の進捗率) |
| 安全の確保 | 車両とホームの隙間対策 (ホーム) 【地】 | 5か所 | 122か所 | 122か所 | H28完了 |
| | 車両とホームの隙間対策 (車両) 【地】 | 0編成 | 20編成 | 20編成 | H27完了 |
| | 新型車両の導入の推進 (地下鉄・東豊線) 【地】 | - | 20編成 | 20編成 | H28完了 |
| | 地震対策の推進 (高架駅の耐震補強工事) 【地】 | - | 4駅 | 3駅 | 真駒内駅耐震工事（～R2予定） (75%) |
| | 火災対策の推進 (防火シャッター・防火戸の設置) 【地】 | 13駅 | 39駅 | 38駅 | (97%) |
| | エレベーターの更新 【地】 | 3基 | 46基 | 41基 | (89%) |
| | エスカレーターの更新 【地】 | - | 39基 | 33基 | (85%) |
| 快適なお客様サービスの提供 | 改札機のIC対応 【地】 | IC化率 72% | IC化率 100% | IC化率 100% | H29完了 |
| | 路面電車情報利活用システムの導入 【路】 | - | 24 停留場 | 24 停留場 | H27完了 |
| | トイレの改修 【地】 | 残8駅 | 残0駅 | 残0駅 | H29完了 |
| | トイレの設備改良 【地】 | 0駅 | 49駅 | 53駅 | H30完了 |
| | 制振軌道化 【路】 | 制振化率 62% | 制振化率 73% | 制振化率 68% | (55%) |
| まちづくりへの貢献 | 照明設備のLED化(駅照明設備) 【地】 | 1駅 | 17駅 | 14駅 | (82%) |
| | 照明設備のLED化(出入口標識) 【地】 | 52か所 | 72か所 | 72か所 | H27完了 |
| | 照明設備のLED化(ホーム駅名標識) 【地】 | 20駅 | 49駅 | 24駅 | 残り25駅は、 H28に非電照化を実施 |
| | 照明設備のLED化(電照広告枠) 【地】 | 9駅 | 18駅 | 32駅 | H26完了 |
| | 太陽光パネルの設置 【地】 | - | 1か所 | 1か所 | H26完了 |
| | 回生電力貯蔵装置の増設 【地】 | 2か所 | 4か所 | 3か所 | (50%) |
| | より利用しやすい環境整備 (階段スリップ防止ゴム) 【地】 | 残23駅 | 残0駅 | 残0駅 | H27完了 |
| | より利用しやすい環境整備 (床と柱の識別化) 【地】 | 残11駅 | 残0駅 | 残0駅 | H26完了 |
| | より利用しやすい環境整備 (既存手摺改修) 【地】 | 残12駅 | 残0駅 | 残0駅 | H27完了 |
| | 停留場のバリアフリー対応の推進 【路】 | - | 11面 | 37面 | H28完了（継続実施中） |
| 新型低床車両の導入の推進 【路】 | 3編成 | 10編成 | 4編成 | (14%) | |
| の経営強化 | 新規広告枠媒体の導入 (大通駅デジタルサイネージ設置) 【地】 | - | 1区画 | 1区画 | H27完了 |

※【地】は地下鉄、【路】は路面電車